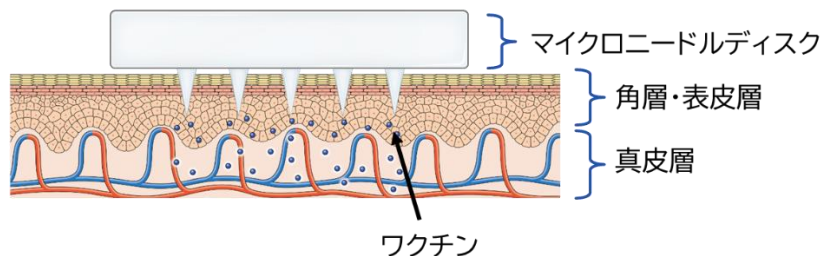


AMEDによるワクチン・新規モダリティ研究開発事業(一般公募)の公募採択のお知らせ

久光製薬株式会社(本社:佐賀県鳥栖市、代表取締役社長:中富一榮、以下「久光製薬」)は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(Japan Agency for Medical Research and Development:AMED)の先進的研究開発戦略センター(Strategic Center of Biomedical Advanced Vaccine Research and Development for Preparedness and Response:SCARDA^{※1})が公募した「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業(一般公募)」に応募し、当社の研究開発課題「新型コロナウイルスを搭載したマイクロニードル型経皮ワクチンに関する研究開発」が採択されましたので、お知らせいたします。

マイクロニードルは、免疫細胞の豊富な皮膚表層に直接ワクチンを届けることを可能とすることから、高い免疫誘導能が期待できます。また、久光製薬のTDDS(Transdermal Drug Delivery System:経皮薬物送達システム)技術であるマイクロニードル「HalDisc[®] Technology^{※2}」は、高い投与精度や短時間投与等を特長とします。本研究では、「HalDisc[®] Technology^{※2}」を用いた新型コロナウイルスの免疫原性増強効果及びそのメカニズム解析を行います。

久光製薬は、今後、国立感染症研究所(治療薬・ワクチン開発研究センター 第三室 松村隆之室長)と連携し、免疫弱者にも有効な免疫誘導、抗体価早期上昇、中和抗体価の持続を確認すると共に、副反応の軽減効果も備えたワクチン開発を目指します。



【マイクロニードルの概略図】

※1: 先進的研究開発戦略センターSCARDA について

<https://www.amed.go.jp/program/list/21/index.html>

※2:「HalDisc® Technology」

生分解性樹脂から成るマイクロニードルディスクに投与用アプリケータを組み合わせ、皮膚に貼付することで薬剤を体内に投与する新たな経皮送達技術です。マイクロニードルは、その構造上、角質層バリア機能の影響を受けないため、従来注射剤として使用されていた薬剤を経皮的に投与することが可能です。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
経営企画本部 企業戦略室 広報・IR 課
TEL:03-5293-1732